

RPA HOLDINGS

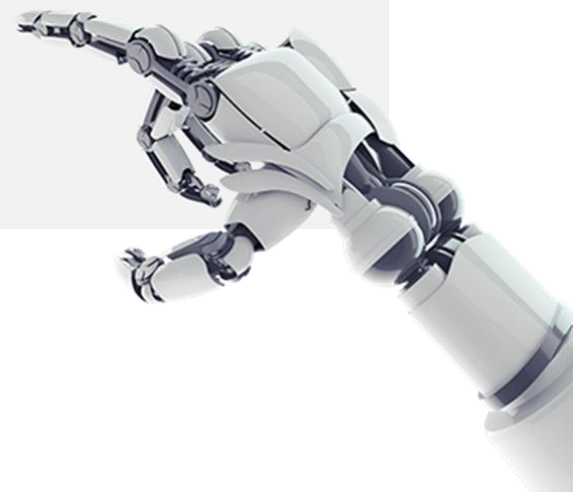
成長可能性に関する説明資料

R P A ホールディングス株式会社



目次

- | | | |
|----|----------|------|
| 01 | 会社概要 | P.2 |
| 02 | 事業環境 | P.11 |
| 03 | 当社の特徴・強み | P.18 |
| 04 | 成長戦略 | P.28 |



会社概要

会社概要

RPAカンパニーグループ

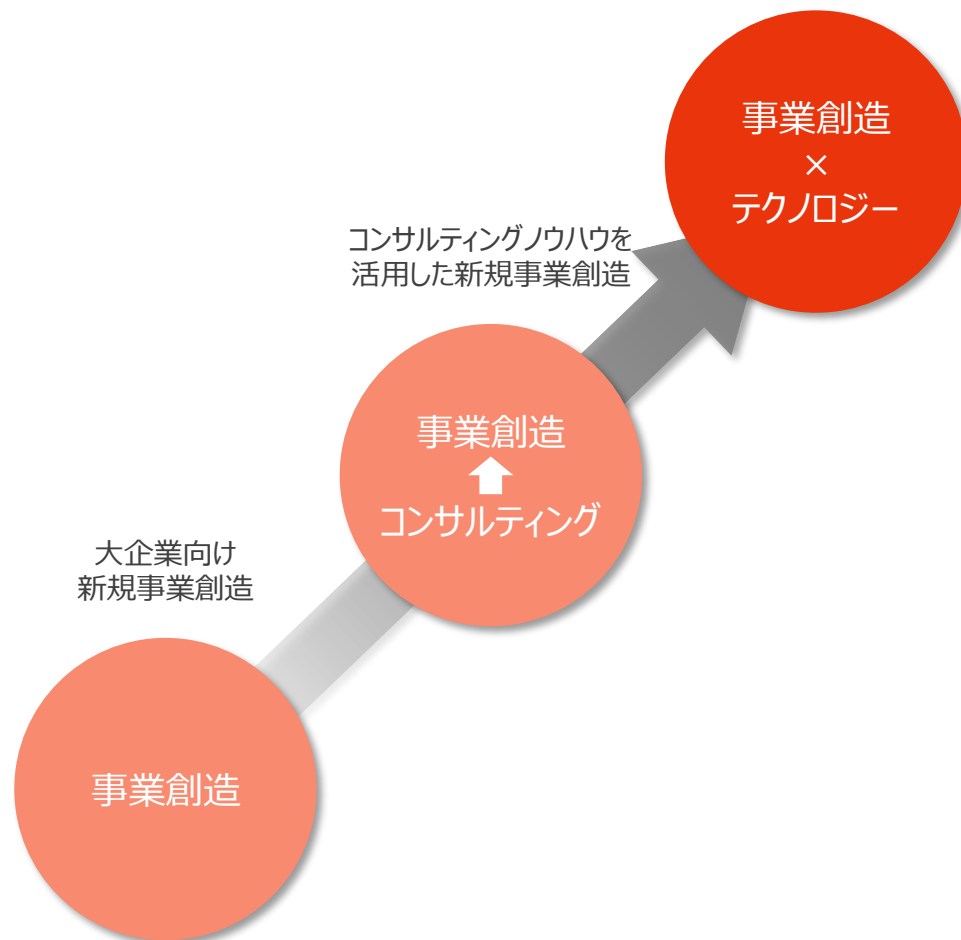
社名	R P Aホールディングス株式会社 RPA Holdings, Inc. (英訳名)	
設立	2000年4月	
資本金	530,550,000円	
所在地	東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル13F	
役員	代表取締役	高橋 知道
	取締役	大角 暢之
	取締役	松井 哲史
	社外取締役	羽入 敏祐
	常勤監査役	西木 隆
	監査役	永井 栄一
	監査役	藤田 智弘
事業内容	純粋持ち株会社	
グループ会社	R P Aテクノロジーズ株式会社 R P Aエンジニアリング株式会社 株式会社セグメント オープンアソシエイツ株式会社 リーガル株式会社	

企業理念

RPA
HOLDINGS

知恵とテクノロジーで新しい事業を創造する

テクノロジー = RPAという
武器を活用した事業創造



役員紹介

代表取締役 高橋 知道

1993年 アンダーセンコンサルティング(株) (現アクセンチュア(株)) 入社
1996年 ソフトバンク(株) (現ソフトバンクグループ(株)) 入社
2000年 当社設立、代表取締役就任 (現任)
2005年 (株)ベクトル取締役就任
2014年 (株)アドベンチャー取締役就任

取締役 大角 暢之

1995年 アンダーセンコンサルティング(株) (現アクセンチュア(株)) 入社
1999年 ソフトバンク(株) (現ソフトバンクグループ(株)) 入社
2000年 当社設立、取締役就任 (現任)
2013年 R P Aテクノロジーズ(株)を設立、代表取締役社長就任 (現任)

取締役 松井 哲史

2004年 当社入社
2015年 当社取締役就任 (現任)

社外取締役 羽入 敏祐

1992年 監査法人トーマツ (現有限責任監査法人トーマツ) 入所
1998年 (株)ウィズ入社
2001年 (株)ストラテジックシナリオ設立、代表取締役就任
2005年 羽入敏祐公認会計士事務所開設
2005年 長野県行財政改革担当参事就任
2007年 (株)ベクトル管理部長就任
2009年 (株)PR TIMES取締役就任
2009年 日之出監査法人代表社員就任
2009年 (株)ベクトル取締役就任
2011年 日之出監査法人 (現ひので監査法人) 社員就任 (現任)
2013年 旅キャピタル (現(株)エポラブルアジア) 非常勤監査役就任
2013年 フリーダムアーキテクツデザイン(株)非常勤取締役就任
2014年 (株)PR TIMES非常勤監査役就任 (現任)
2014年 日之出コンサルティング(株)代表取締役就任 (現任)
2015年 当社非常勤取締役就任 (現任)

常勤監査役 西木 隆

1993年 三井不動産(株)入社
2000年 クレディスイスファースト ポストン証券 (現クレディスイス証券(株)) 東京支社入社
2001年 Colony Capital Asia Pacific Pte.Ltd. 東京支店入社、COO就任
2003年 ラウンドヒル・キャピタルパートナーズ(株) 代表取締役就任
2007年 プルデンシャル・リアルエステート・インベスターズ・ジャパン(株) 代表取締役就任
2010年 カーバル・インベスターズ・ピーティーイー・リミテッド東京支店入社、日本代表就任
2014年 Stream Capital Partners Japan(株)設立、代表取締役就任
2014年 (株)アドベンチャー非常勤監査役就任
2015年 (株)ウィルゲート非常勤取締役就任 (現任)
2015年 (株)ベクトル非常勤取締役就任 (現任)
2015年 当社監査役就任 (現任)
2016年 (株)オークファン非常勤取締役就任(現任)

監査役 永井 栄一

2005年 弁護士登録 (58期)
2005年 ポールヘイスティングス法律事務所 (-2008年)
2008年 アレン・アンド・オーヴェリー法律事務所 (-2011年)
2012年 ウォーリック大学ロースクール卒業 (LL.M.)
2012年 ホワイト&ケース法律事務所 (-2015年)
2016年 ケイネックス法律事務所を設立。パートナー就任 (現任)
2016年 当社監査役就任 (現任)

監査役 藤田 智弘

1989年 大和証券(株)入社
1998年 (株)ビジネスブレイン太田昭和入社
2004年 日興アントファクトリー(株) (現アント・キャピタル・パートナーズ(株)) 入社。戦略投資グループ パートナー
2008年 アント・コーポレートアドバイザー(株) (現ACA(株)) へ出向
戦略投資グループ マネージングパートナー
2008年 ACA(株)へ転籍
2012年 ACA Investments Pte Ltd へ転籍
マネージング・パートナー就任 (現任)
2016年 当社監査役就任 (現任)

「リードタイム」×「品質」×「コスト」を最大最適化

■ 工場のFactory Automation進化

(人 + 製造ライン + ロボット)

直接
部門



■ オフィス版の生産性向上の進化

(人 + 情報システム + ロボット)

間接
部門



RPAの登場 (ロボット)

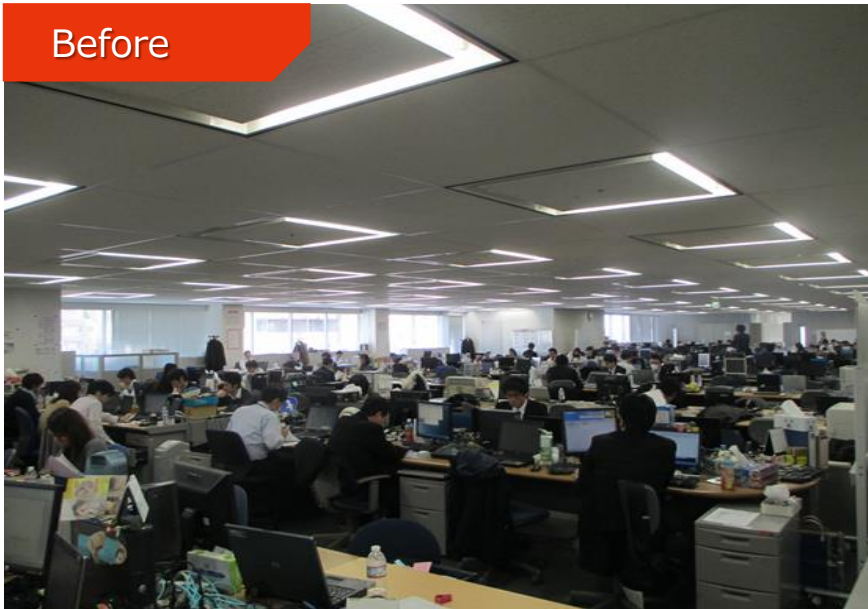


RPA (Robotic Process Automation) とは、認知技術 (ルールエンジン・機械学習・人工知能等) を活用した主にホワイトカラー業務の効率化・自動化の取組みであり、人間の補完として業務を遂行できることから、仮想的労働者 (デジタルレイバー) とも言われています

ロボットを細かく・上手く活用し、ルーティンワークから解放

■ 事務センターのトランスフォームイメージ

Before



体制：80人

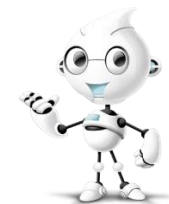
After



体制：13人（総合判断・管理に13名）



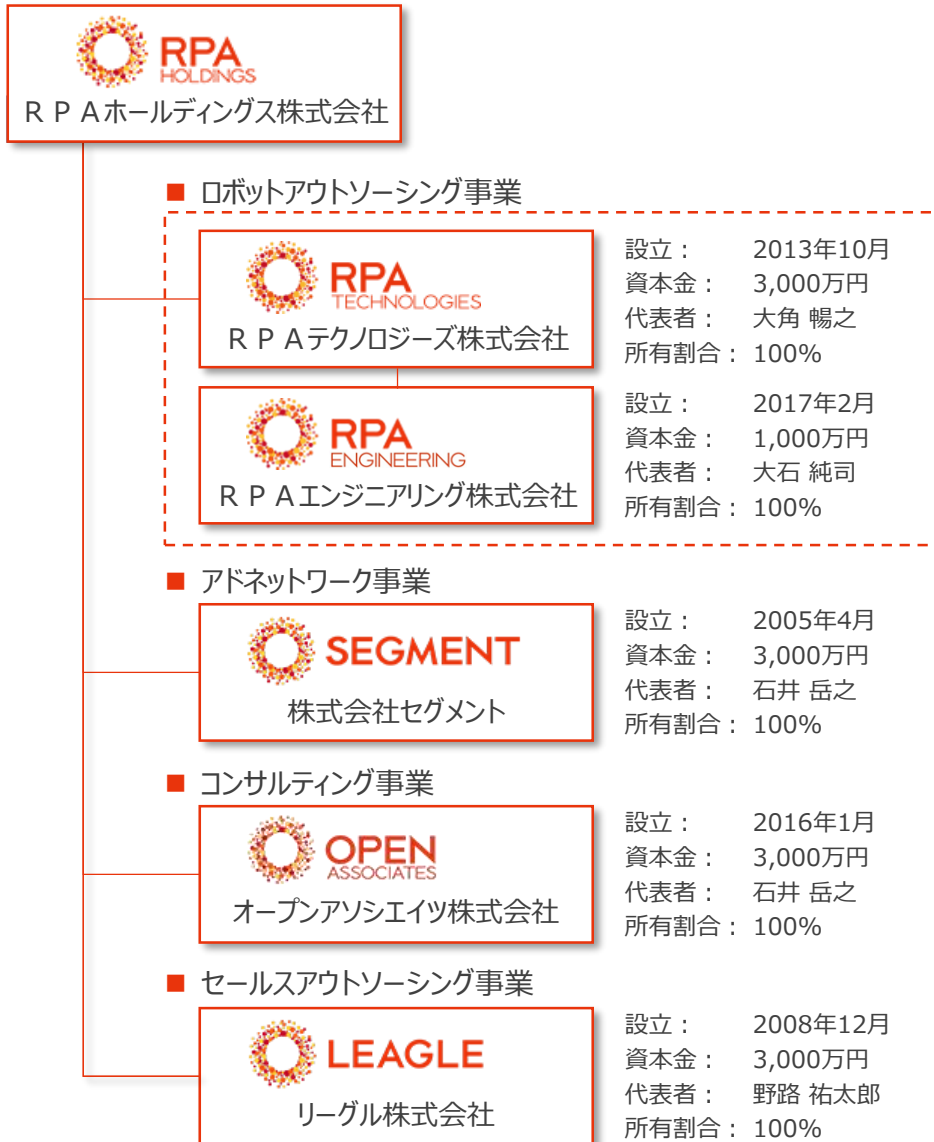
データ入力
ロボット×5



データチェック
ロボット×10

グループ概要

「RPA」を活用した新規事業創造グループ



事業構造

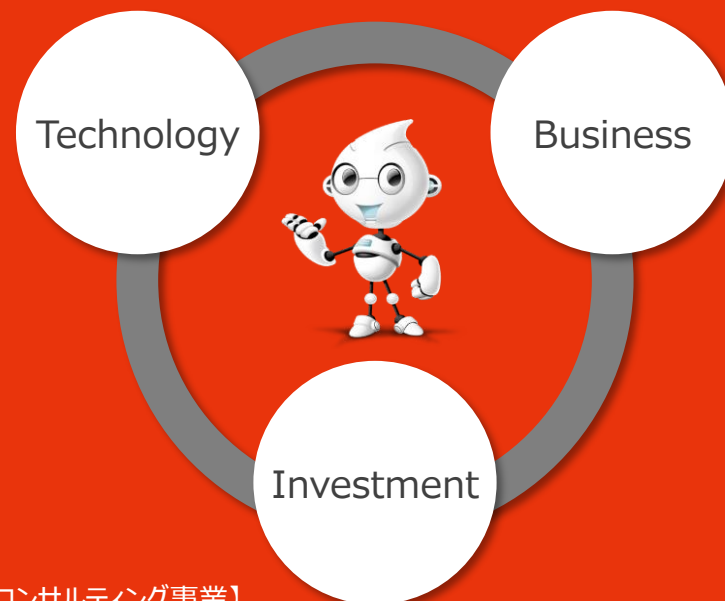
「RPA」中心の事業構造

【ロボットアウトソーシング事業】

- 金融、製造など幅広い業界で250社を超える企業に、主力製品であるデジタルレイバー作成プラットフォーム「BizRobo!」等のRPAソリューションを提供、国内RPA分野のリーディングカンパニーとして認知

【アドネットワーク事業】

- PRESCO事業の運営及び、広告領域におけるデジタルレイバーサービスである「PRESCO Robo!」事業を展開
- 企業向けの人工知能とRPAの情報提供に特化したRPA BANKの運営



【コンサルティング事業】

- 大手企業の新規事業に特化したコンサルティング、専門領域特化型BPO事業者や地方有力者とともにRPAを活用した新規事業開発支援

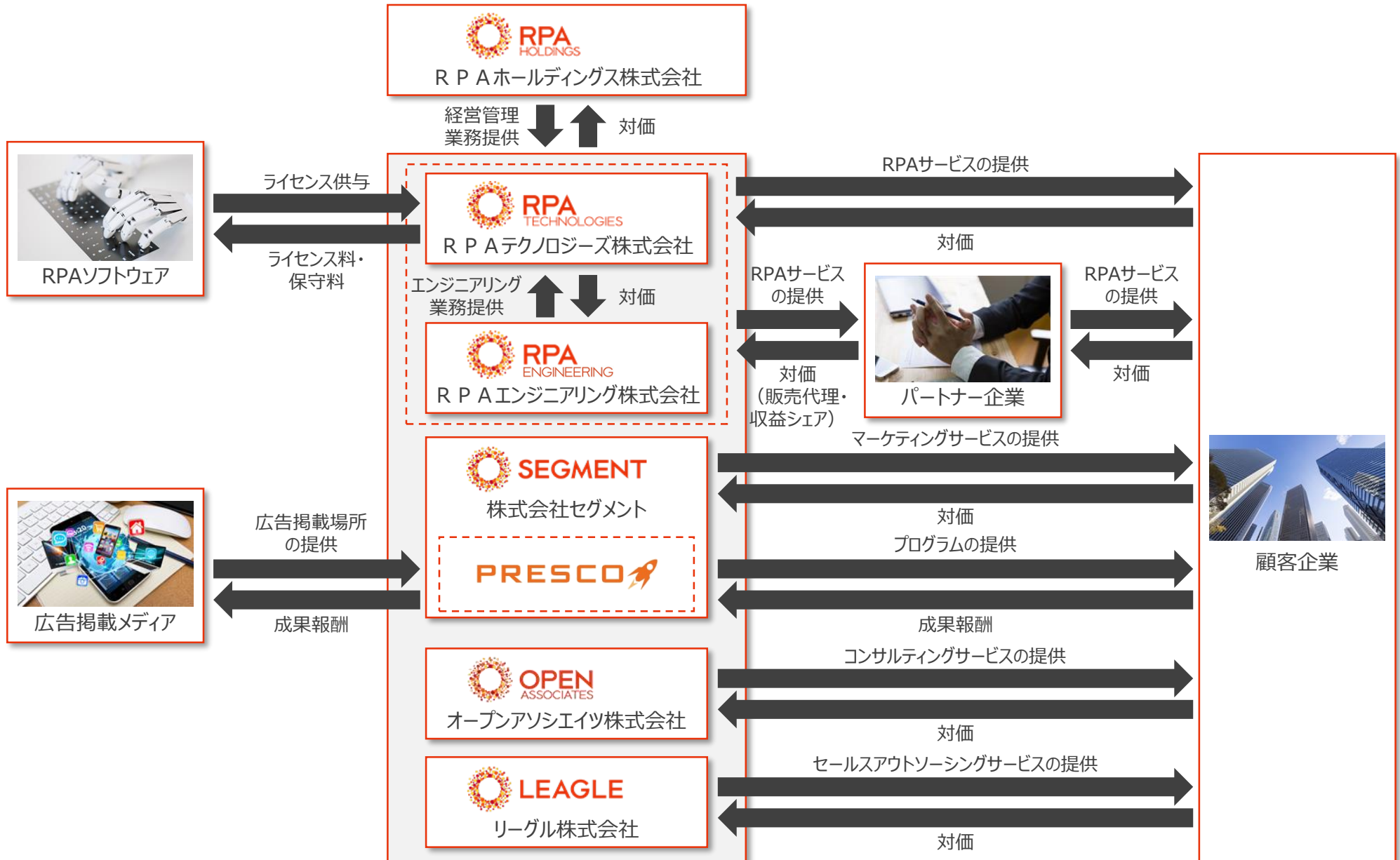
Others

【セールスアウトソーシング事業】

- IT企業（ソフトウェア、システムインテグレーター）向けに法人向けセールスアウトソーシング事業を展開

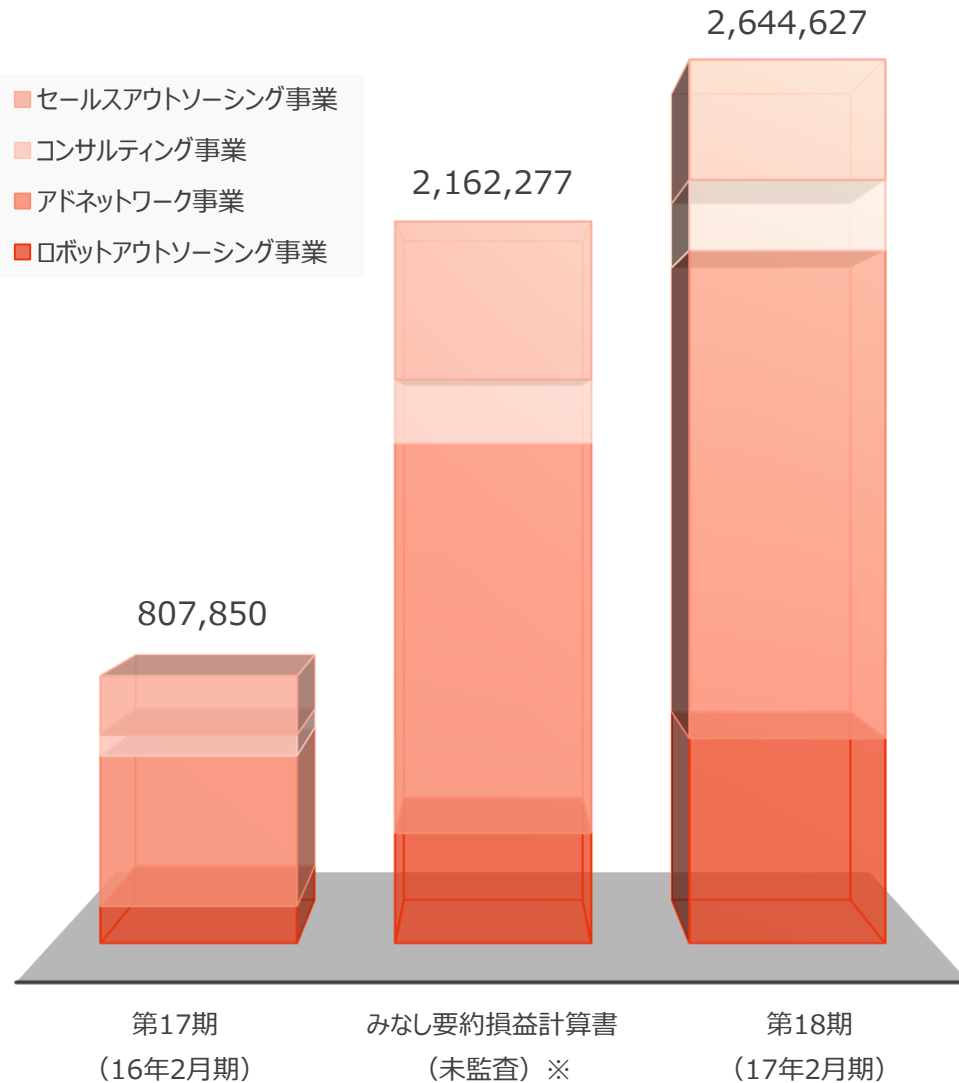
2000年4月	Webサービス企画を目的として、デジタルリパブリック(株) (現 R P Aホールディングス(株)) を設立	2015年9月	紙処理業務を代行する「ScanRobo」サービスを開始
2008年10月	「BizRobo!」提供を開始	2015年11月	OPEN ASSOCIATES USA., INC.の株式をOPEN ASSO CIATES ASIA PTE. LTD.より譲受
2008年12月	セールスアウトソーシング事業を行うリーグル(株)を設立	2016年1月	当社を純粋持株会社へ移行、事業会社オープンアソシエイツ(株) (現連結子会社) を会社分割により子会社として新設
2012年2月	アジアでのホールディングス体制への移行の為、リーグル(株)の株式をOPEN ASSOCIATES ASIA PTE. LTD.に譲渡	2017年2月	RPAエンジニアリング事業を行うR P Aエンジニアリング(株) (現連結子会社) をR P Aテクノロジーズ(株)から新設分割により設立
2012年6月	(株)セグメントの株式をOPEN ASSOCIATES ASIA PTE. LTD.が譲受	2017年2月	(株)ビッグツリーテクノロジー & コンサルティングと合併企業ビッグツリーRPA(株)を設立
2012年9月	(株)セグメントにおいて「PRESCO事業」を開始	2017年3月	RPA早期体感POCパッケージ「Digital Labor Platform」の提供を開始
2013年7月	ロボットアウトソーシング事業を行うビズロボジャパン(株) (現 R P Aテクノロジーズ(株)) を設立	2017年5月	R P Aテクノロジーズ(株)がガートナーの「Cool Vendors in Business and IT Services, 2017」に選定
2013年11月	アジアでのホールディングス体制への移行の為、ビズロボジャパン(株)の株式をOPEN ASSOCIATES ASIA PTE. LTD.に譲渡	2017年5月	経理財務・人事総務分野でのRPAを活用したソリューション提供に向けて(株)ビジネスブレイン太田昭和と業務提携
2013年12月	アジアでのホールディングス体制への移行の為、OPEN ASSO CIATES ASIA PTE. LTD.が当社株式を取得、親会社となる	2017年6月	R P Aホールディングス(株)に商号変更
2014年9月	OPEN ASSOCIATES ASIA PTE. LTD.がOPEN ASSO CIATES USA., INC.を設立	2017年6月	R P Aテクノロジーズ(株)がBlue Prism Limitedの日本初の「Blue Prism」バリューアッドマスターリセラーに認定
2015年9月	当社を持株会社とする国内ホールディングス体制への移行の為、当社株式をOPEN ASSOCIATES ASIA PTE. LTD.より同社の株主に対して譲渡	2017年7月	RPA分野の事業展開を共同で行い、さらなる市場拡大を目指すため、ソフトバンク(株)と業務提携
2015年9月	当社を持株会社とする国内ホールディングス体制への移行の為、ビズロボジャパン(株)、リーグル(株)、(株)セグメントの株式をOPEN ASSOCIATES ASIA PTE. LTD.より譲受		

ビジネスモデル

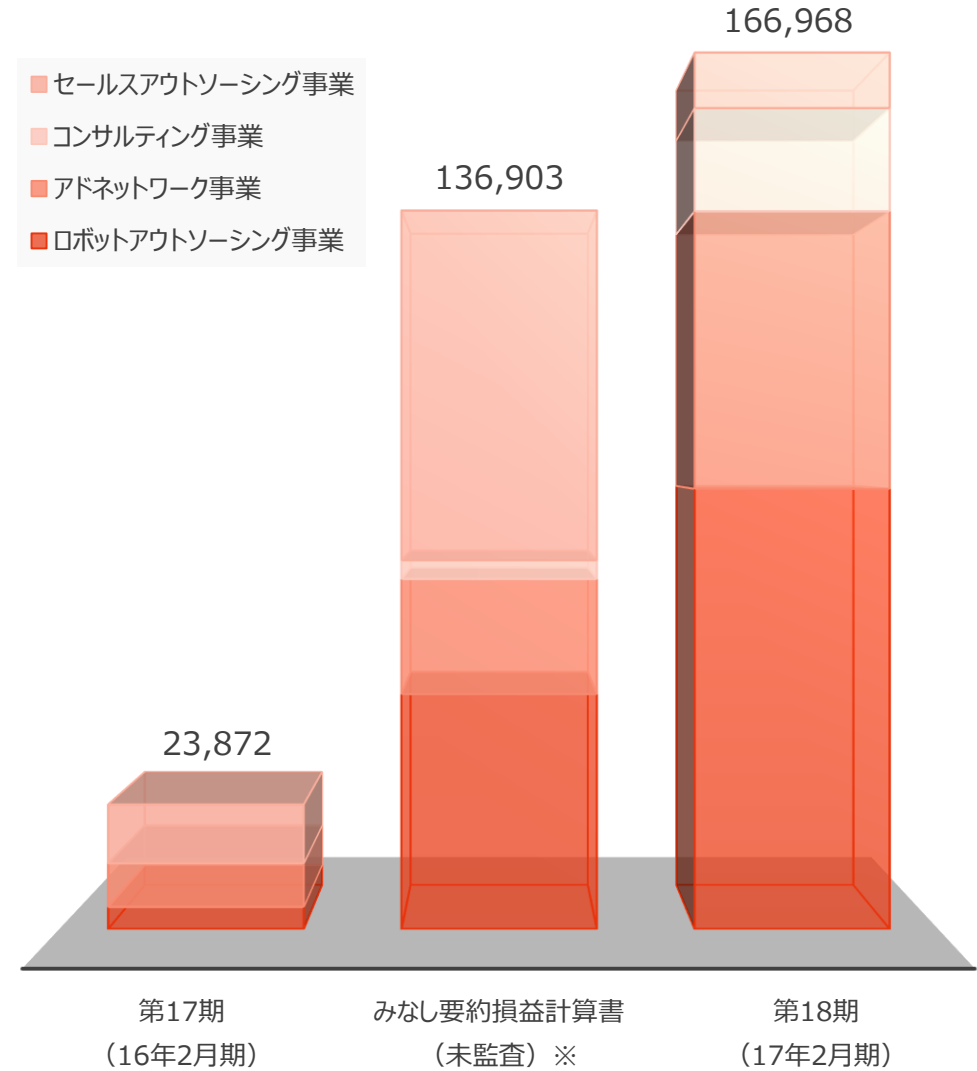


売上高・営業利益の推移

■ 売上高推移 (単位：千円)



■ 営業利益推移 (単位：千円)



※ 決算期末日を毎年9月30日から2月末に変更したことにより、第17期は5ヶ月間の変則決算となります。「みなし要約損益計算書 (未監査)」は、7ヶ月間の損益計算書を第17期の損益計算書に合算することにより、2015年3月1日から2016年2月29日までの12ヶ月間の期間における損益計算書として作成しております。



RPA
HOLDINGS

事業環境

RPAの潜在市場規模

- マッキンゼー・グローバル・インスティテュートによると、2025年までに全世界で1億人以上の知的労働者、もしくは1/3の仕事がRPAに置き換わり、知的労働の自動化は2025年までに全世界で6.7兆ドルにまで拡大する見込
- 国内におけるRPA/AI関連コンサルティング・導入市場は、KPMGコンサルティングによると2020年に1.4兆円規模になると予想

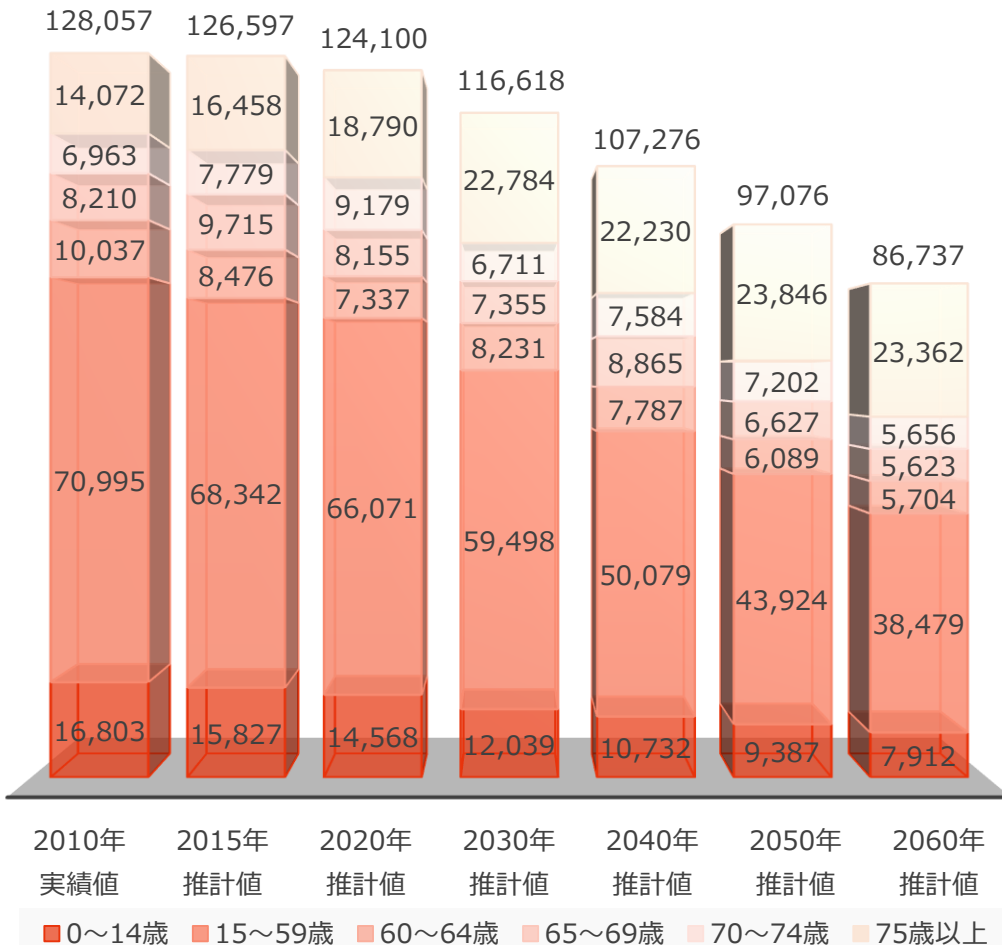
■ 破壊的技術：生活、ビジネス及び国際経済を変える進化

No.	技術	実現される技術・波及効果	経済的影響力
1	モバイルインターネット	価格低下、モバイル・コンピューティング機器の能力及びインターネットの接続性向上	3.7 - 10.8兆ドル
2	知的労働の自動化	非構造的な指令や微妙な判断を含む知識労働を行うことができる知的ソフトウェアシステム	5.2 - 6.7兆ドル
3	モノのインターネット (IOT)	データ収集、モニタリング、意思決定及びプロセスの最適化を行うための低廉なセンサーのネットワーク	2.7 - 6.2兆ドル
4	クラウドテクノロジー	ネットワークやインターネットを介したハードウェア及びソフトウェアリソースの利用 (主にサービス)	1.7 - 6.2兆ドル
5	先進ロボット工学	感覚、器用さ及び知性を改良し、能力が拡大したロボットにより作業の自動化や人の作業補助を行う	1.7 - 4.5兆ドル
6	自動走行車	人の介入が不要なもしくは介入を減らしたナビゲーション及び操作可能な車	0.2 - 1.9兆ドル
7	次世代ゲノミクス	高速かつ低廉な遺伝子配列解明技術、先進的ビッグデータ解析及び合成生物学 (DNA記述)	0.7 - 1.6兆ドル
8	エネルギー貯蔵	後日利用するためのエネルギー貯蔵装置や貯蔵システム (電池を含む)	0.1 - 0.6兆ドル
9	3Dプリンティング	デジタルモデルを基に材料を層状に印刷することにより物体を作成する積層造形技術	0.2 - 0.6兆ドル
10	先端材料	特殊な特性や機能(強度、重量、伝導性)を持つよう設計された材料	0.2 - 0.5兆ドル
11	先進的エネルギーの探求と回収	非従来型の石油及びガスを経済的に採取することを可能とする探索及び回収技術	0.1 - 0.5兆ドル
12	再生可能エネルギー	気候への悪影響が少ない再生可能エネルギーによるエネルギー産出	0.2 - 0.3兆ドル

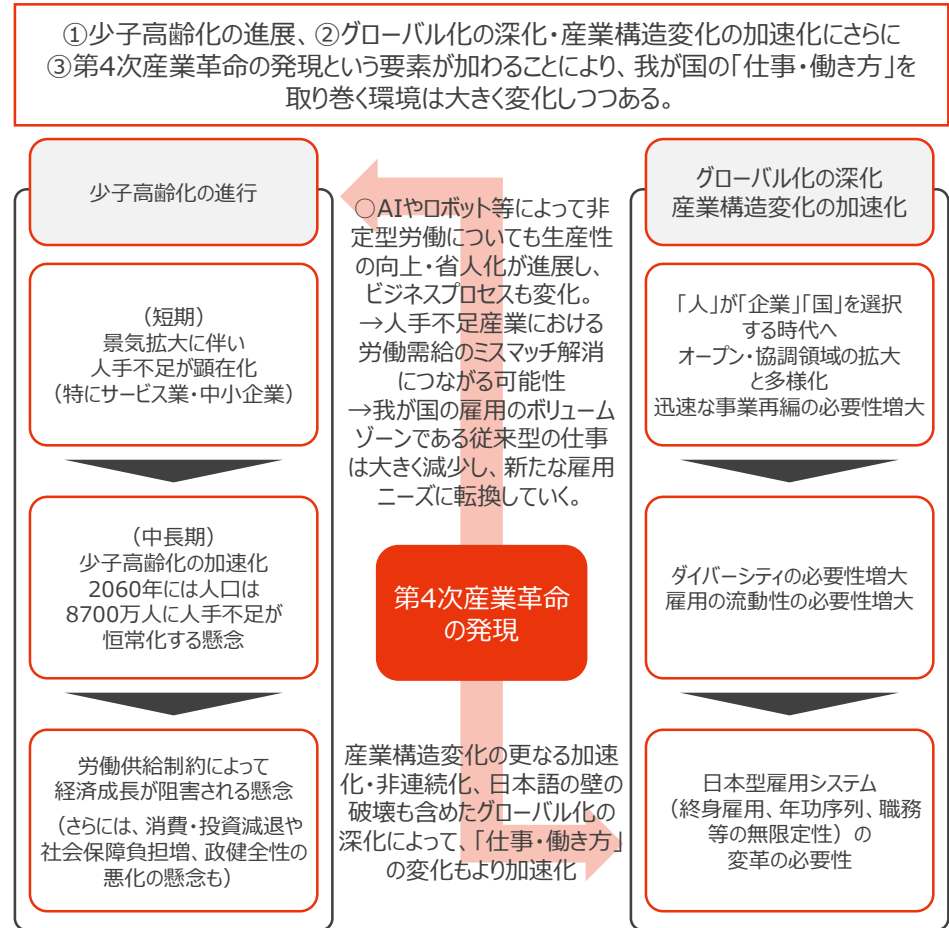
RPAが注目されている理由①

- 2060年には国民の約2.5に1人が65歳以上の高齢者になり、労働力の中核を成す生産年齢人口（15歳～65歳）も減少
- 上記の背景も含め、経済産業省「第4次産業革命への対応の方向性」において、「仕事・働き方」が大きく変化を遂げる見込
- AI/ロボット等による定型業務から非定型業務の生産性の向上・省人化の進展が解決策として挙げられている

■ 年齢区分別将来人口推計（単位：千人）



■ 我が国の「仕事・働き方」を取り巻く環境の変化



※出所：内閣府「平成24年版 高齢社会白書」

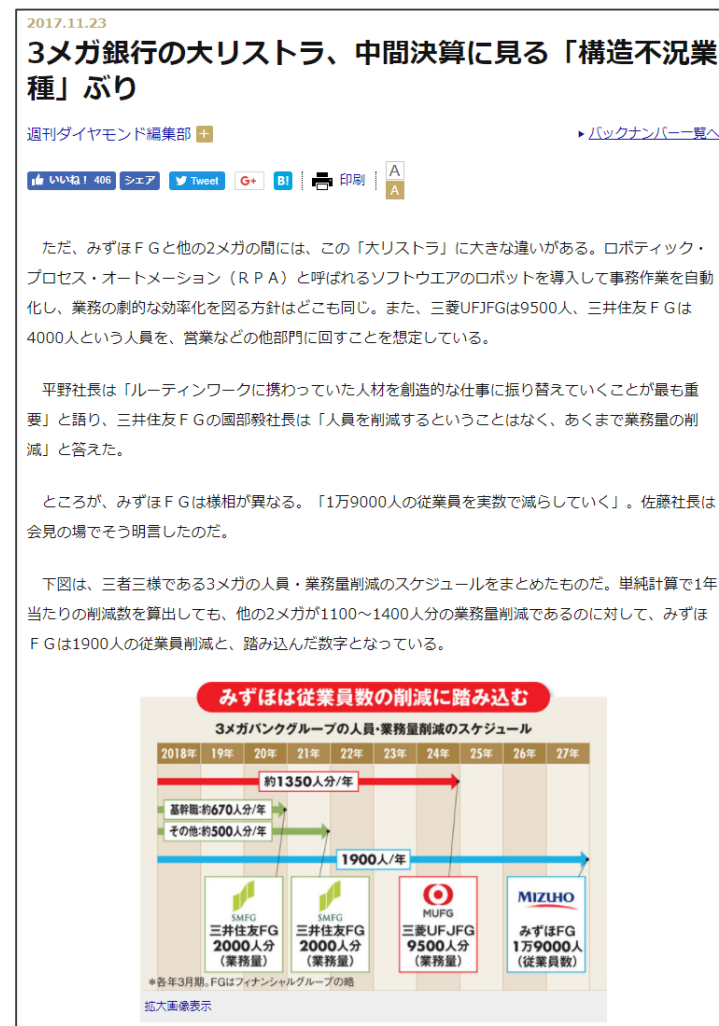
※出所：経済産業省「第4次産業革命への対応の方向性」

RPAが注目されている理由②

- 日本経済新聞の一面でRPAに関する記事が取り上げられる等、RPAの注目は日増しに増加
- また3メガバンクの大規模リストラの施策として、RPAで事務作業を自動化し、空いた人員を営業等の他部門に回すことが挙げられており、RPAを活用した企業改革が既に開始している



※出所：日本経済新聞 2017年11月29日

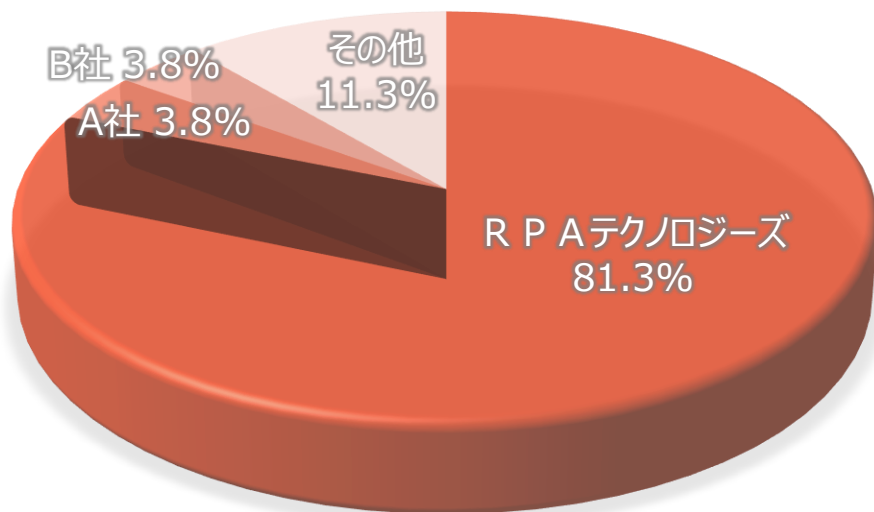


※出所：週刊ダイヤモンド2017年11月25日号

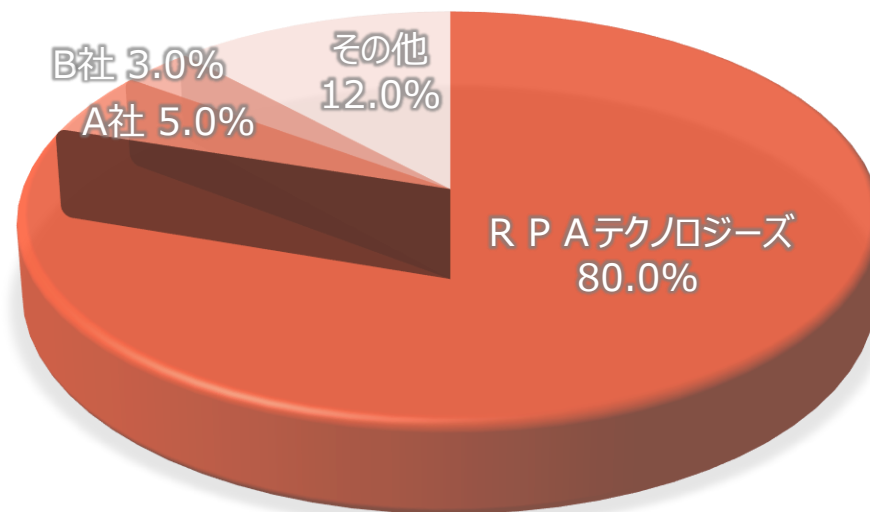
RPA市場占有率

- 富士キメラ総研のRPA関連市場の調査結果によると、当社グループのRPAテクノロジーが2016年度の実績で、金額ベースで81.3%、数量ベースで80.0%となり、RPA関連市場でNo.1の実績を誇る

■ RPA関連市場 市場占有率（金額ベース）



■ RPA関連市場 市場占有率（数量ベース）

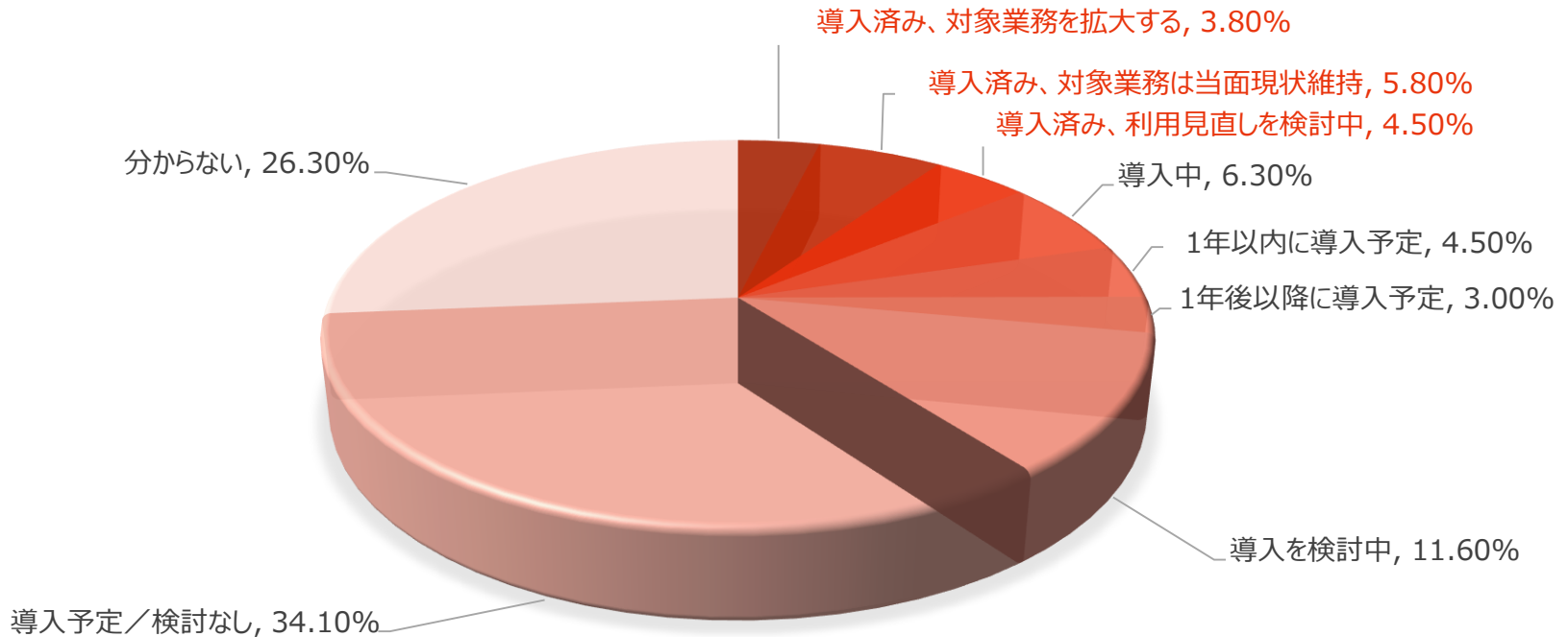


金額ベースで当社グループが、81.3%に対して、2位となるA社が3.8%となるため、当社グループのRPA関連市場における市場占有率は圧倒的な市場シェアになります

国内企業のRPA導入状況

- ガートナー ジャパンの国内企業のRPA導入状況の調査結果によると、先行する国内企業の導入事例が増えているが、RPAを「既に導入済み」と回答した企業の割合は全体の14.1%

■ 国内企業のRPA導入状況

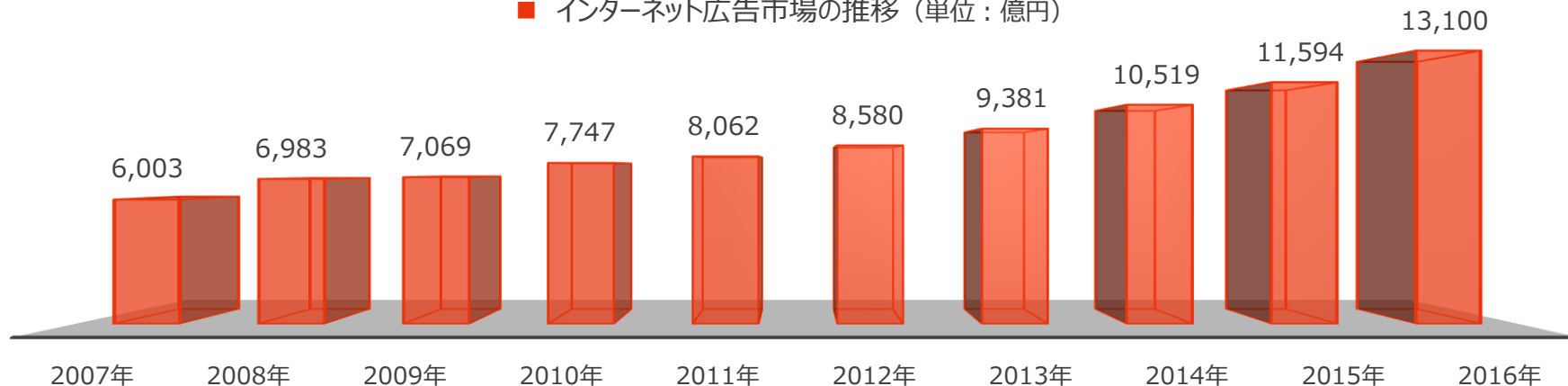


「既に導入済み」企業は14.1%のみのため、市場としての伸び代は大きく、国内におけるリーディングカンパニーとして、国内企業のRPA導入を牽引していく

各事業の市場

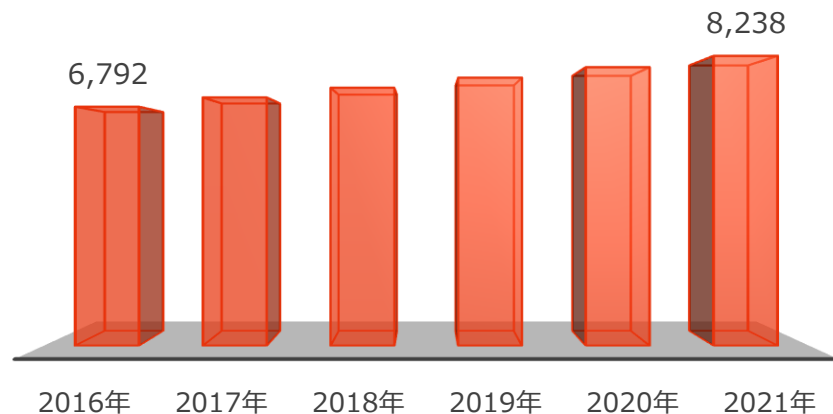
- アドネットワーク事業の対象となるインターネット広告市場は2016年で1.3兆円と右肩上がりに成長
- コンサルティング事業の対象となる国内コンサルティングサービス市場は2016年で6,792億円、2021年には8,238億円と予測
- セールスアウトソーシング事業の対象となる国内BPO市場（営業）は2015年で688億円と堅調に推移

■ インターネット広告市場の推移（単位：億円）



※出所：株式会社電通「日本の広告費」

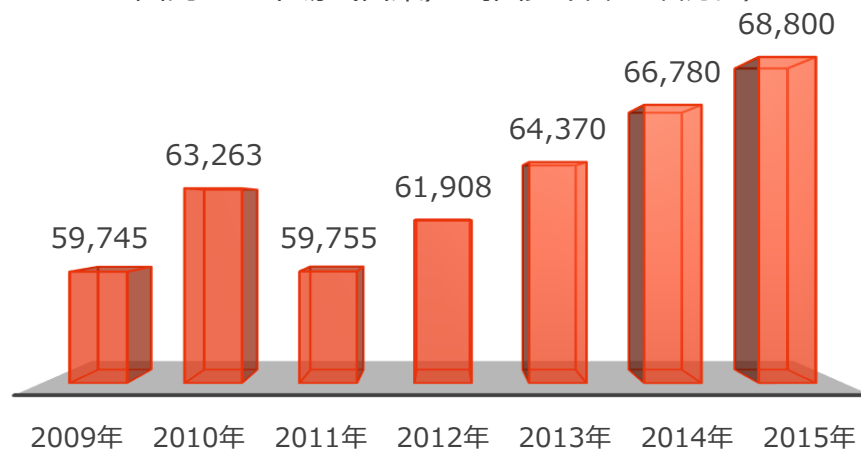
■ 国内コンサルティングサービス市場（単位：億円）



※出所：IDC Japan株式会社

「国内ビジネスコンサルティング市場予測、2017年～2021年」

■ 国内BPO市場（営業）の推移（単位：百万円）



※出所：株式会社矢野経済研究所

「2012 BPO(ビジネスプロセスアウトソーシング)市場の実態と展望」